

銚子市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画に記載した施策について

(令和8年1月末時点)

(1) 高齢者を支える社会基盤の整備

- ・地域包括支援センターの認知度向上を目指し、建物や職員の写真、ひとり暮らし高齢者の見守り訪問事業を紹介する記事を広報ちょうし（6月号）に掲載。身近な相談窓口として周知を行いました。
- ・医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者を支援する医療と介護関係者間の情報連絡を円滑に進めるための連絡手段としてLoGoチャット（非公開型SNS）の運用を令和7年8月から開始。利用者アンケートから「意見交換や情報収集に役に立っている」「使い慣れていないため扱う機会が少ないが、慣れたら便利で業務の効率化が図れそう」等の意見が聞かれております。情報連携や業務の効率化に一定の効果が今後も期待できるよう、操作研修を適宜実施していきます。

【実績】 アカウント配布数は168（再掲 医療機関：27アカウント）

- ・介護予防・地域支え合いサポーター活動は昨年度から引き続き、介護予防（プラチナ体操）の普及啓発に関する活動を実施することとしました。
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する取組みや福祉まつりに加え、新たに「プラチナ体操体験会」でサポーター活動を実施しました。

【実績】 実施回数 10回 サポーター活動延べ人数 25人

実施人数：160人

参考) サポーター登録数 56人

- ・エンディングノートの利用促進を図るための取組みとして、終活セミナー・個別相談会「知って安心・学んで備える～終活と遺言の基礎～」を開催しました。

【実績】 セミナー参加者数 45名

相談内容 資産運用や不動産に関すること、遺言書の具体的な記入方法、親の介護、
子供のいない夫婦についての今後に関する相談 等

相談対応 地域包括支援センターや生命保険事業者 等

個別相談件数 15件

エンディングノート配布数（令和8年4月～12月末）：1, 111部

- ・高齢者等見守り協定事業者（民生委員、民間事業者等15協力事業者）を対象に連絡会を新たに開催し、「認知症高齢者見守り事業」に関する事業概要の説明及び見守り活動の現状及び課題の情報共有を行いました。

【実績】 9事業者（民生委員児童委員協議会含む） 29名

- ・てうしケアマネクラブと協同で、災害時に避難行動要支援者の迅速かつ円滑な支援が行えるよう、ケアマネジャーを対象に「災害について考える」をテーマに研修会を開催しました。「本市における防災対策に関する取組み」に関する講義と発災直後の初動でケアマネジャーが担う役割について考えるグループ演習を行いました。

【実績】 参加者 ケアマネジャー等 49名

(2) 介護予防の推進と高齢者の生きがいづくり

- ・65歳以上を対象にプラチナ体操の普及・啓発を目的として「プラチナ体操体験会」を新規に開催しました。

【実績】 開催回数 1回 参加者数 18名

- ・「お互い様の支え合い」である互助の重要性を伝える活動を推進すべく第2層生活支援コーディネーター（以下「第2層SCという。」）を中心に、東部及び中央生活圏域に第2層協議体の新規設置・運営開始を目指し、町内会長や民生委員等地域の関係者と協議を進めています。

- ・日常生活に支障を感じる高齢者が、自分らしい生活を継続できるよう短期集中の介護予防プログラム「リエイブルメントプログラム」の導入を進めています。3月5日に市内通所サービス事業者やケアマネジャーを対象に、今市が取り組むべき短期予防集中サービスの概要や他市の取組みの実績を含めた内容で外部講師を招き、研修会を開催する予定となっています。

(3) 尊厳ある暮らしの支援

- ・市立銚子高校1年生対象に認知症サポーター養成講座を実施しました。実施後アンケートでは、認知症に対する正しい理解や今後の対応についてまで考える意見が多く聞かれました。若い世代への認知症に関する正しい知識の普及・啓発を推進していきます。

・本年4月より高齢者福祉課内に権利擁護支援の中核を担う中核機関を設置し、次の活動に取り組んでいます。

①一般市民向け、ケアマネジャーや市役所職員等の支援者を対象に成年後見制度に関する普及・啓発活動の実施。

②地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等の一次相談機関からの相談対応を主とするが、イオンしおさいプラザにて市民向け相談会の開催や弁護士による専門相談を開催。

③銚子市地域連携ネットワーク（協議会）構築に向けた準備会開催に向け、関係機関と調整を進めている。（3月26日開催予定）